

令和8年度
花巻市博物館特別展

TAISHO IMAGERIE

大正 イマジュリイ の世界

モダンでユニーク。
おしゃれでかわいい。
大正デザインの原点へ。



竹久夢二
『唯我心悩ぞ知らめ』
（セノオ楽譜二七番）（一部）
1924年第6版／1916年初版、
セノオ音楽出版社



No. 27

令和8年

9/12 土 - 11/23 月・祝

休館日：月曜日、9/24 木、10/13 火
（9/21 月、10/12 月）は開館

開館時間 9:00 ~ 16:30

入館料 一般 350(300)円
高校生・学生 250(200)円
小・中学生 150(100)円

※常設展も観覧できます。
※（ ）内は20名以上の団体料金。
※周辺施設とのお得な共通券もございます。
※土日祝日限定で花巻市、遠野市内の小中学生はまなびキャンパスカードの提示で展示を無料でご覧いただけます。なお、小学生は同伴者1名も無料となります。

花巻市博物館
Hanamaki City Museum

主催／花巻市博物館 監修／山田俊幸（元帝塚山学院大学教授）
協力／大正イマジュリイ学会 企画協力／株式会社キュレイターズ



令和8年度
花巻市博物館特別展

TAISHO IMAGERIE

大正 イマジュリイ の世界

モダンでユニーク。
おしゃれでかわいい。
大正デザインの原点へ。

多彩な大衆文化が隆盛した大正から昭和初期にかけて、日本では印刷技術の革新を背景に出版文化が発展しました。藤島武二、橋口五葉、竹久夢二ら当時新しい表現方法を模索していた画家たちも、同時代の美術界の動向と並行しながら、独自の表現を生み出し、人々の心をとらえました。やがて杉浦非水をはじめとするグラフィックデザイナーが誕生し、モダンデザインに大きな影響を及ぼしました。

本展では、この頃に登場した書籍の装幀や挿画、ポスター、絵はがきなど大衆的な複製図像を、イメージ図像を意味するフランス語「イマジュリイ(imagerie)」と総称して紹介します。

当時の人々を魅了し、日常に美を添えてきたイマジュリイは、現代のデザインやイラストレーションの原点といえます。モダンでユニーク、おしゃれでかわいい、魅力的な大正イマジュリイの世界をお楽しみください。



注目展示

大正から昭和期に活躍した染織工芸家の広川松五郎が装幀を手掛けた、宮沢賢治の『春と修羅』初版本を展示します。

広川松五郎・装幀／宮沢賢治・著
『春と修羅』1924年、関根書店



{左上より} ○ 竹久夢二《涼しき装ひ》『三越』第15巻第6号 1925年、三越呉服店 ○ 杉浦非水《初夏》『三越』第22巻第5号 1932年、三越呉服店 ○ 小林かいち 絵はがきセット《二号街の女》(部分) 1925-1926年頃、さくら井屋(京都) ○ 橋口五葉・装幀/夏目漱石・著『吾輩ハ猫デアル』下編 1907年第3版/1907年初版、大倉書店/服部書店 ○ 長原孝太郎・装幀/佐々木信綱・著『おもひ草』 1905年再版/1903年初版、博文館 ○ 岡本帰一・挿画《ワタシノオモチヤ》『コドモノクニ』7巻1号 1928年、東京社

関連イベント

ワークショップ 大正イマジュリイな ブックカバーづくり

日時：9月19日(土) 13:30~15:00
場所：講座・体験学習室
定員：先着 15名(要申込)
参加費：500円

記念講演会 大正イマジュリイの魅力

講師：永山多貴子氏
(郡山市立美術館 館長)
日時：9月27日(日) 13:30~15:00
場所：講座・体験学習室
定員：先着 30名(要申込、聴講無料)

ワークショップ 成島和紙の飾り紙箱づくり

講師：赤津有美氏
(和しごとラボラトリー 百花)
日時：11月7日(土) 13:30~15:00
場所：講座・体験学習室
定員：先着 20名(要申込)
参加費：1,000円

【申込方法】
各二次元コードの花巻市博物館ホームページの専用申込みフォーム、または電話0198-32-1030までお申込みください。
【申込期間】
各イベントの開催日1か月前~前日まで

花巻市博物館

Hanamaki City Museum

〒025-0014 岩手県花巻市高松26-8-1 TEL 0198-32-1030/FAX 0198-32-1050 E-mail museum@city.hanamaki.iwate.jp

交通案内

- バス 【新花巻駅→賢治記念館口】コミュニティバス 土沢線 シーナシーナ花巻前行…約5分
【花巻駅→賢治記念館口】コミュニティバス 土沢線 道の駅とうわ行…約20分
- 車 花巻空港ICより…約10分、東和ICより…約10分
- 徒歩 新花巻駅より…約25分

